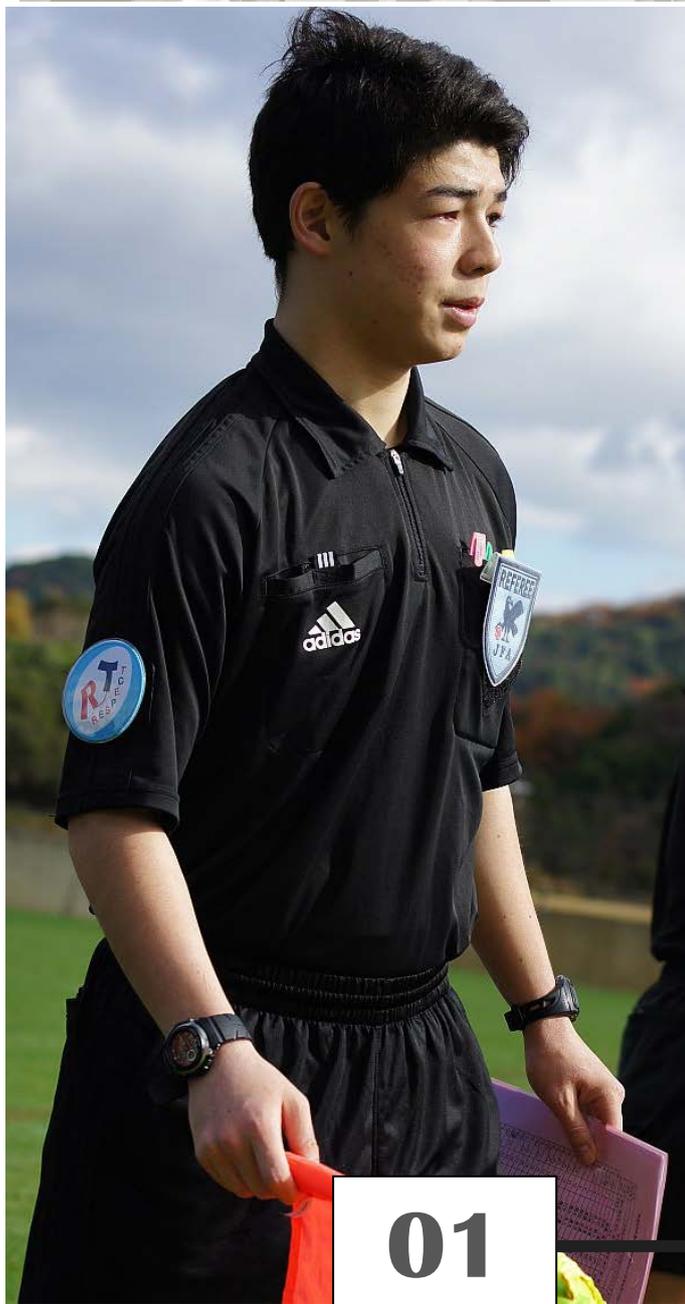


## 研修会参加報告

## 2016年 スキルアップ研修会 参加報告

----- 「スキルアップ研修会に参加して」 2016年12月10~11日 於：淡路 -----



私は、審判を始めてまだ一年も経たない内にこの研修会に参加させていただきました。

私の周りは、ベテラン審判員や私と同じようにまだ始めて間もない審判員もあり、ベテラン審判員からは、沢山のことを学び、まだ始めて間もない審判員からは、お互い頑張ろうと励まし合うことができました。

今まで自分が審判をしている映像など見たことがなく、今回の研修で初めて見ました。そこで改めて自分の審判としての実力や課題が明確に分かり、そこからどのようにすれば良いのかなど、ベテラン審判員などに教えて頂きとても貴重な時を過ごせたなと思いました。

この研修会の醍醐味であると思われるベテラン審判員やインストラクターからのアドバイスがもらえたり、沢山の審判員との交流を深める事が出来たかと思えます。ありがとうございました。

## [1日目]

一試合目、私は初めて第4の審判員をさせていただきました。初めてだったのでとても緊張しましたが、常にインストラクターの方が一緒にいて沢山のことを教えて頂いたので、難なく無事に試合を終える事が出来ました。

そして、二試合目、私はアシスタントレフェリーをしました。ここでは、自分の課題であるオフサイドラインを意識するという姿勢で臨みました。その部分はクリアしたかと思うのですが、映像で見ても体の動きが硬く、また沢山の課題が出来ました。

サッカー3級審判員(ユース)：福吉 海偉

課題である『試合開始 10 分の集中力を高め、試合序盤から試合に関わる』ことを意識して臨んだ。



インストラクター/観戦側もその一挙手一投足に注視した。

## 【2 日目(最終日)】

一試合目は、アシスタントレフェリーをしました。その試合は、メイングラウンドですることが出来ました！とてもグラウンドの状況がよく、とても楽しくアシスタントレフェリーをすることが出来ました。

課題としては、今回はオフサイドライン、タッチライン、ゴールラインを意識し、フラッグを挙げる時にいつもより少し高めにあげるということを意識して試合に臨みました。結果としては、少しくリア出来たかと思います。

二試合目は、この研修会で初めて主審を任せられました。この研修会での課題である『試合開始 10 分の集中力を高め、試合序盤から試合に関わる』というものでした。私は試合序盤から関わろうと思い、いつもより少しボールとの距離を縮めて正確なジャッジをしようと心がけていました。ですが、試合後映像を見て振り返ってみると、ボールに関わろうとしているのは、分かるのですが、審判員としてのポジショニングが出来ていなく、ファウルを何回か見逃していたりと、出来はあまり良くなかったように思われました。

そこで一緒に映像を見ていたベテラン審判たちから私に沢山のアドバイスと課題を教えてくださいました。この課題をこれからの審判活動でクリアしていこうと思います。



試合後、撮影した映像を元に各班に分かれ、インストラクターから各審判員へ個別指導を行った。



## 研修会参加報告

## 2016年 スキルアップ研修会 参加報告



12月10日から11日(1泊2日)にかけて行われました、2016年度兵庫県スキルアップ研修会に参加し、とても中身が濃い2日間の研修会であったと実感しています。

4級から1級審判員まで幅広い審判員の方が参加しました。7グループに分かれての研修は少人数で、インストラクターの方からの適切な指導がいただけました。

今回の研修では主審、副審、第4の審判員とそれぞれ担当させていただきました。主審は試合開始10分の集中力を高め、試合の序盤から試合に関わることで、副審はオフサイドラインの見極めを確実に行うこと、第4の審判員は与えられた任務を確実に、主審・副審の気持ちを考えること、がそれぞれの個別テーマでした。

実際に主審を担当して試合開始10分の入り方を意識して慎重に入りました。やはりファウルの判定基準や選手とのコミュニケーションが図れないまま試合が進んでいき、両ベンチの声が上がって試合のコントロールが上手くできないまま試合を終えました。試合が終わり、インストラクターの方と反省会をしたときには、動きの面を評価されました。スプリントが効いた走りができており、適切なポジションでプレーを監視できている映像がありました。

私自身のストロングポイントであるスプリント能力を今後さらに伸ばせていけるように日々トレーニングに励みたいと思います。

サッカー2級審判員：高橋 謙介

02



副審ではオフサイドラインの見極めの判定が正確にできました。しかし、ボールがアウトオブプレーになった時に指し間違えをしてしまうところは課題なので、今後も修正していきたいと思います。

第4の審判員では主審・副審の気持ちを考えながらすることができました。特に、ベンチ側のハーフウェーライン付近でボールが出たときに片手でどちらのチームがスローインを行うかなどを示す時などに手を使ってその方向を示すことによって、主審や副審の援助ができたと思っています。

またベンチコントロールなどを行い、第4の審判員としての重要性を改めて認識することができました。

今回の兵庫県スキルアップ研修会に参加し、主審、副審、第4の審判員とそれぞれの役割を改めて認識することが多い研修会となりました。

この研修会を通して、さらなる高みを目指して今後も成長していきたいと思います。



・各班のリーダー、インストラクターも金網越しに試合を見守った。

・試合分析に使用する映像を班毎で撮影を行ない、反省会では審判員と一緒に見返し、より深い理解を得る。

・フィールド全体を見渡せる席から「判定精度・ポジショニング・走カ・ゲームコントロール・チームワーク」等、様々な角度から試合を分析し、適切な指導を図る。



## 研修会参加報告

## 2016年 スキルアップ研修会 参加報告



03

私は、12月10日（土）11日（日）に行われたスキルアップ研修会に参加させていただきました。

私たちは、この講習会で兵庫県クラブユースサッカー（U-14）新人戦の審判をやらせていただきました。

今回の研修の自分自身のテーマは、「自分に自信を持って判断する。」でした。

この目標を掲げ、2日間の研修に挑みました。

#### 【1日目】

副審をやらせていただき、自分がなんとなくしか分かっていなかったことが解決し、基本的な部分でも自分が知らなかったところなどを細かく教えていただきました。これから、試合の審判をしていく上で、とても勉強になりました。



#### 【2日目】

練習試合では、主審をやらせていただき、初めての体験だったので、緊張しましたが、後ろにインストラクターの方についていただき、無事やりきることができました。



#### 【まとめ】

この研修に参加して、自分がまだまだルールを理解していないことを知りました。基本的なことでも、自分の分からなかったことや知らなことが沢山ありましたが、いろいろな方に教えていただき、とても勉強になりました。これからも、沢山勉強して、自信をもって審判できるように頑張りたいです。

サッカー3級審判員（ユース）：畑中 あずさ

## 研修会参加報告

## 2016年 スキルアップ研修会 参加報告



サッカー3級審判員：藤田 和昭

04

私は、2級審判員を取得したいと思い、今回初めてスキルアップ研修会に参加させていただきました。審判経験の浅い私にとっては、不安でいっぱいでしたが周りには1級審判員の方や2級審判員の方がいろいろと声を掛けて頂き、コミュニケーションをとっていけるようになりました。

試合になると2級審判員の方もレフェリーやアシスタントをされていたので観戦し、自分との違いを比較していました。姿勢、シグナル、ジャッジはもちろんのこと、イレギュラーな事が起きた時の対応がすばらしく、とても勉強になりました。

あと、初めて4thをしました。Jリーグなどを見ていると簡単にしているように見えますが、いざやるとなると、なにもできずインストラクターの方にサポートしてもらいました。

4thは一番冷静に試合を見られるからいろんな事に気がついてサポートしていかないと感じました。レフェリーの時は後半の立ち上りがいつも悪く、課題にしていました。インストラクターの方から「一回リセットし切り替えて10分きっちりやる」と、アドバイスを頂き、頑張れました。

今回の研修会で一番感じた事は、レフェリーをするにあたっての前準備がかなり大事だと感じました。割り当てが決まり、それまで何ができるかをこれから考え、チャレンジしていこうと思います。

ユース審判員からも刺激を受けいろんな事を吸収し見て学ぶ事が出来た楽しい研修会でした。

最後になりましたが、参加にあたりご指導、ご支援を頂きました兵庫県サッカー協会、淡路サッカー協会の関係者の方々に心より感謝し、お礼申し上げます。

## 研修会参加報告

## 2016年 スキルアップ研修会 参加報告



アクティブ登録をして1年半、自分の周りの環境が変わる(息子が少年団を卒業する)2017年の審判活動における目標を設定するため、また、多くの審判員と交流が出来る、これほど色々なアドバイスが受けられる貴重な機会はそうそうないと思い、今回のスキルアップ研修会に参加させて頂きました。

テーマは、「審判チームで協力し試合をコントロールする」「人間性を向上させる」というもの。

2日間通して、三木リーダーを中心に、娘と同一年の中学生、ユース審判員、これからのHFAを支える若手の男女2級審判員、そして私という、審判員をしていなければまずあり得ないであろう組み合わせの班とともに活動し、チームとしてゲームに臨み、ビデオ研修をして頂き、審判員としてはもちろん、一人の人間としても今更ながら学ぶ事があり、少し成長出来たのではないかと思います。

## 【レフェリーとして】

ビデオ研修会において自分では全く気付いていない無駄な動きをご指摘頂いたのは非常にためになりました。また、研修会という事でハーフタイムにもアドバイスを頂き、それを後半すぐに活かすことが出来ました。まさに短時間でのマッチ、トレーニング、マッチ(のようなイメージ)。

これは最高の経験になりました。次回以降の割当てで早速修正していきたいと思えます。

サッカー3級審判員：関 哲也

05



## 【アシスタントレフェリーとして】

経験の少ない中学生のアシスタントという事で、班の審判チーム一丸となってサポートしました。

指導者として長く活動していても、最初に受けた印象はとても大切だと感じています。ゲーム前はすごく緊張していた様ですが、終わってから「楽しかった」という言葉が聞けて、ホッとするとともにとてもうれしい気持ちになりました。

## 【4th.レフェリーとして】

普段なかなか経験することがなく、やるべき事を頭では理解していても、その場その場で思いもよぬ事象が起こります。横にリーダーがついて下さり、その都度アドバイスを頂けたことで、理解も深まり非常にいい経験となりました。アドバイス頂いた事をしっかり整理し、自分の引き出しを増やしていければと思います。

また、研修の合間に頂いた山本チーフインストラクターの「新たなるチャレンジ」のご挨拶には非常に感銘を受けました。我々の様に4種のお父さんコーチあがり、年齢を大きく重ねてから審判、インストラクター活動を始めた人間にとっては、とても勇気づけられるお話でした。

その他、書いていくときりがない程濃密で充実した2日間でした。

自営業のため、研修会に参加するには休業しなければならず、正直少し悩みましたが、本当に参加してよかったです。

山本チーフインストラクターの眼差しの向こうには…

若手からベテラン、女子審判員が集結し、己を鍛えあげた。

最後になりましたが、いつもアスパ五色割当ての際は非常にお世話になっております淡路サッカー協会の高倍委員長をはじめ、淡路サッカー協会関係者の皆様、今回の研修会を取り仕切って下さいました梶原審判員をはじめ、多くのアドバイスを下さった、兵庫県サッカー協会の皆様、また一緒に学んだ審判員の皆様、本当にお世話になりました。

先に述べました山本チーフインストラクターのお言葉を胸に、三木リーダーから受け継いだ『Bダッシュ!』の精神で、2017年も一つ一つの割当てを大切に、全力で走り切ります。そして、必ずや今よりも成長した姿でまた、このアスパに戻って来られる様努力してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

